Ibara City Hospital
井原市立 井原市民病院

診療科目
内科・循環器内科・外科・整形外科
眼科・泌尿器科・放射線科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・婦人科・小児科
皮膚科

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地　TEL.0866-62-1133　FAX.0866-62-1275　E-mail:byoin@city.ibara.okayama.jp
発行責任者／山田　信行

新年を迎えて

院長　山田　信行

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな抱負を持って新しい年をお迎えのことと存じます。市民ならびに職員の皆様方には日頃から井原市民病院の運営につき格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は3月11日に東日本大震災、福島第一原発事故、9月には台風12、15号による災害と、大災害に見舞われた一年でした。未だ避難生活を強いられている方々をはじめ被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を願っております。

「ホスピタリティー（思いやりの心）を高めよう」とのスローガンで始まった井原市民病院の昨年の主な出来事を振り返ってみます。1月：心臓リハビリテーションを開始。4月：黒瀬　康平事業管理実践者の着任、小野田　正外科医長の着任、川崎医科大学から俵本和仁先生の派遣、事務部の組織改編、臨床工学技士の採用、ホームページの全面更新。7月：麻酔科の新設、岡山済生会総合病院から宮下　浩明先生の派遣、節電対策実施計画を策定。8月：緩和ケアチーム委員会を設置。9月：日本栄養療法推進協議会からNST稼動施設認定。10月：医事業務委託会社の変更。11月：日本がん治療認定機構から認定研修施設認定、第一回井原市民病院健康まつりを開催。健康祭りは地域に密着し開かれた病院を目指しての小さな一歩の踏み出しでしたが、職員間の「絆」も深めることができ、極めて意義深い大きな一歩でした。

さて、今年行おうとしていることに触れたいと思います。

井原市は広島県との県境に位置し、人々の生活圏は福山市を含む地域です。ところがこと医療の話になると途端に県境が大きな壁として立ちはだかります。井原市は岡山県南西部二次保険医療圏（倉敷を含む地域）に属し、医療提供体制構築の最も基礎となる岡山県の保険医療計画も、この二次医療圏をもとに策定されます。このことが行政上の施策と現実との間に様々なギャップ（救急医療、予防注射などの問題）を生むことになります。日常生活からみた人の流れの方向を変えて、医療だけは別の方向へ誘導するのには無理があります。限られた、というよりも絶対的に少なすぎる医療資源を少しでも有効に活用し、人の自然な流れである生活圏域を考慮に入れた、すなわち住民中心の、住民にとって分かりやすい医療提供体制の再構築を行政枠を超えて考えないといけない時期に来ているのではないでしょうか。「患者中心の医療」が叫ばれ、医療の現場では実践されていますが、果たして医療提供体制は「患者中心の医療提供体制」になっているでしょうか。行政枠ではなくて生活圏内での各医療機関のあるべき役割と連携を新たな視点から考え直す必要はないでしょうか。こうした観点から今年1月より福山市民病院循環器内科から月2回半日だけですが診療援助をいただくことになりました。県境を越えた公的病院の人的連携であり、将来、このことは地域住民にとって計り知れない恩恵へと発展していくものと期待しています。

当院の入院患者さんの平均年齢は76歳と高く、誤嚥性肺炎での入院・再入院、脳血管障害後、摂食嚥下障害、認知症、PEG（胃瘻）造設、化学療法患者などが多いのが特徴の一つです。高齢者医療を行うに当たり、NST（栄養サポートチーム）と協力して包括的口腔ケアの実施と指導は避けて通れない問題と認識し、本年1月から歯科衛生士を採用しました。少しでも多くの患者さんに、少しでも長く、安全に自分の口から食べていただけるようにと願います。

人口4万4千人で高齢化率が30％を超え、できる限り長く自分の家で過ごしたいと希望する人が60％を超えるなかにありながら、在宅療養を支援する医療機能としては井原医師会訪問看護ステーションしかありません。現在の井原市の保健・医療・福祉体制で最も必要とされているものは、24時間巡回型訪問サービスだと考え、今年4月から開始すべく準備中です。これにより入院患者さんの在宅復帰率を高め、在宅療養している方の病院入院率を下げ、在宅看護にあたっているご家族の負担軽減が得られるものと信じています。井原医師会訪問看護ステーションと緊密かつ良好な連携をとりながら井原市の在宅医療の充実を図ろうと思います。

今年が皆様方にとって良き年でありますように祈念致しますとともに、地域に密着した、より愛される病院を目指しますので、皆様方の一層のご支援・ご協力・ご指導をいただきますようにお願い申し上げます。

健康教室のご案内

1月　血液検査 ˜採血から報告まで˜
臨床検査技師

2月　動脈硬化が見える!!
診療放射線技師

3月　未定
薬剤師

1階玄関ロビーにて　参加自由、無料診察の待ち時間、乗り物の待ち時間に気軽にご参加ください。

小児科よりお知らせ

B型肝炎ワクチンは、任意接種のワクチンです。同じ任意接種でもみずぼうそうやおたふくかぜワクチンは多くの保護者の方々に知られていますが、B型肝炎ワクチンはあまりなじみのないワクチンです。はじめて耳にした人もいるかもしれませんが、B型肝炎は、だれでもかかる危険性のある、ワクチンで防げる病気です。

赤ちゃんのために、B型肝炎ワクチンのことをきちんと知って、大切なお子さんを守ってあげてください。

B型肝炎ウイルスに感染しても、誰もがキャリア（持続感染：ウイルスを体内に保有した状態）になるわけではありません。でも、赤ちゃん、とくに3歳未満の乳児がB型肝炎ウイルスに感染すると、キャリアになる危険性がずっと高くなります。キャリアになると、慢性肝炎になりやすく、将来、肝硬変から肝臓がんに進行することがあります。

赤ちゃんが生まれたら、できるだけ早いうちにB型肝炎ワクチンでウイルスから守ること、あまり知られていませんがとても大切なことです。

接種方法など詳しいことは小児科でご説明いたします。ぜひご相談ください。

手書き年賀状の勧め

あべ　こうぞう

昔、年賀状は全て手書きであった。そしてそれが当たり前であった。

パソコンやワープロが普及して、手書きの煩わしさがなくなったが、当時使いこなす為にはどんなに苦労を強いられたことか。誰かがパソコン印刷の賀状を送ってくれて大いに尊敬したものだった。ましてや版画を彫って一枚一枚刷らなくてもいいし、投函締め切りに間に合うようにもなった。あの苦労は語り草となった。

今は誰もがパソコン印刷である。あれ程感心したパソコン賀状は、今ではDM化しており、味もそっけもない。出してくれた方には誠に失礼千万であるが。受け取った側としては、「ああ、今年も来てくれたか・・」「まだ忘れずにはいたが元気なんかー」「もう切りたいのかなー、切って欲しいのかなー」「義理で、仕方なしに・・・」かもしれない等とつい思ってしまうのである。そんな賀状に、近況を一筆書き添えてあると嬉しいものである。私事であるが、最近では宛名を手書きにしている。そして本文にも添え書きをしている。一枚一枚相手のことを「元気なんだろうかなー」とか「どうしているのかなー」とか想い出して書いている。大方の相手は年一度の年賀状だけの交流であるから尚更である。

世の中は利便性一辺倒で、それはそれで忙しい方には良いのであるが、余りにも儀礼的な感を否めないのである。多少遅れても良いではありませんか、ましてや近年は賀状には日付消印が無い。これも殺風景極まりないが・・・。気持ちが添えられていれば。遅れも相手の事情が読み取れて、やっぱり出してくれたかと、これまた嬉しいものである。

世の中が、相手への思い遣り、気遣い、温かさが乏しいと言われて久しいが、たった一枚のそれで相手も自分も和めるのである。例え下手な文字・文章であってもそれに勝るものはないのである。これが私の手書き年賀状の勧めである。

井原市民病院基本理念

1．患者の権利を尊重し、情報提供によって患者が納得出来る医療を行い、地域住民に信頼される病院を目指します
1．医学の進歩に相応した高いレベルのしかも安全管理が行き届いた医療が行えるよう、日々研鑽に励みます
1．地域医療体系の一環として相互の連携を密にし、機能分担を考慮した効率的な医療を提供します
1．医療を受ける側の身になって考え、暖かい心の手を差し伸べることを忘れません

井原市民病院職員の誓い

1．私たちは、市民の生命（いのち）と健康を守り、心のこもった診療をいたします。
2．私たちは、質の高い医療を目指し、日々研鑽いたします。
3．私たちは、病める人の身になって考え、最善の理解者となるよう努力いたします。

第一回井原市民病院健康まつり

去る 11 月 13 日　日曜日、“第一回井原市民病院健康まつり”が開催されました。講演会に始まり、展示、バザー、ロビーコンサート、AED 講習会、院内体験などさまざまな催し物が行われました。たくさんの方にお越しいただき大変な賑わいでした。ありがとうございました。

記念講演

「一分一秒でも
長生きをしたい方への
メッセージ」
黒瀬康平事業管理実践者

ロビーコンサート

福山アンサンブル「夢」のみなさん

院内体験

検査科・・血管年齢測定など
薬剤科・・入浴剤作りなど
診療科・・人形を使った胃カメラの実演

リハビリテーション科

各種講習会

介護保険講習会
AED 講習会

バザー、友愛セール露店

介護用品、野菜、卵にお米、果物、タオルなどなど・・・いろんなものがありました。

展示コーナー

外来診療担当医表

診療科		月	火	水	木	金	受付時間及び備考
内　科	午前 初診（予約外）	岡本	岡本	島田	※岡大 堀口	高山／宮下	8：30～11：00　（予約外）
	午前 再来(予約)	高山	高山	高山	島田	島田	
	午前 再来(予約)		島田	※岡大 岡田	岡本	武田	
	午　後（予約）		高山	高山	岡本	島田	午後診は予約のみとなります。
			島田	岡田(禁煙外来)		武田	
循環器内科	午　前	※岡大 寒川	山田	※岡大 麻植	齋藤	山田	8：30～11：00
			齋藤	齋藤	※福山市民病院応援医師（隔週　第1・3）		
	午　後（予約）	※岡大寒川	山田	※岡大麻植		山田	予約のみとなります。
神経内科	午　前（予約）	※岡大倉田					8：30～11：00　※予約のみの診察となります。
	午　後（予約）	※岡大倉田					予約のみとなります。
糖尿病内科	午　前						午前の診療はありません。
	午　後（予約）			※川大 俵本			予約のみとなります。
内視鏡検査	午　前	島田	※岡大 神崎	岡本	※岡大神崎	※岡大堀口	
整形外科	午　前	平田	予約平田	予約平田	平田	予約平田	8：30～11：30
			予約住吉				
	午　後		手術日		手術日		午後の診療はありません。
外　科	午　前	細羽	森崎	小野田	小野田	細羽	8：30～11：30
	午　後	手術日	検査	検査	岡大　松岡(隔週) ※予約	手術日	手術日以外の午後診は急患・紹介患者のみとなります。
乳癌検診	午　前	森崎		森崎	森崎	森崎	8：30～11：00（要予約）
眼　科	午　前	岸本	岸本	岸本	岸本	岸本	8：30～11：30
	午　後	手術日	岸本	手術日		検査・予約	13：00～15：00
耳鼻咽喉科	午　前		※岡大岡野			※岡大江口	8：30～11：30
	午　後		※岡大岡野			※岡大江口	13：00～15：00　※午後の診察は14：00～15：00までです。
皮膚科	午　前		※岡大白藤				8：30～11：00
	午　後		※岡大白藤				12：30～13：30
泌尿器科	午　前	※岡大有吉		※岡大別宮			8：30～11：30
	午　後	※岡大有吉		※岡大別宮			13：00～15：00
小児科	午　前	松原	松原	松原	松原	松原	8：30～11：30
	午　後	松原	[乳児健診] 予約　※	[予防接種] 予約	[予防接種] 予約	松原	一般診療月・金13：30～16：00 予防接種水・木13：30～15：30（要予約） 乳児健診火13：30～15：00（要予約）
婦人科	午　前	予約 ※岡大 関				予約 ※岡大 春間	8：30～11：30　一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先となります。
	午　後	予約 ※岡大 関				予約 ※岡大 春間	13：00～15：00　一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先となります。
リハビリテーション科	午　前			予約※岡大派遣医師			8：30～11：30
	午　後						午後の診療はありません。
放射線科	午　前	○	○	○	○	○	8：30～11：30
	午　後	○（※岡大 黒田）	○（※岡大 黒田）	○	○（※岡大 平木）	○（※岡大 黒田）	13：30～15：30

■午前の診察は　9：00～（婦人科月曜　9：30～、小児科火曜　9：20～、耳鼻咽喉科火曜　9：30～・金曜　9：00～）
■午後の診察は14：00～（小児科木曜日は15：00～）

■上記の時間は受付時間
■自動再来機の受付時間は8：00～

□休　　診 土曜日、日曜日
国民の祝日、年末年始（12／29～1／3）

□面会時間　【平　日】　13：00～20：00
【休診日】　13：00～20：00

第一回井原市民病院健康まつりを終えて

５階病棟は『介護の展示とお茶コーナー』をテーマに参加しました。

とりわけ、力を注いだのが、介護用品の展示販売です。普段、患者様に接する中で浮かぶ様々な「気づき」を、パジャマの改良をはじめ　いろいろなグッズに反映させました。

当日展示・販売した商品は全てスタッフの手作りです。９月中旬から少しずつ準備してきました。当日、展示を見た方から「あ、こんな物があればおじいちゃんに使えるな」とか「こんなふうにすれば着やすいな」と言う感想を頂き購入もしていただきました。

今回の展示を通して、介護する人や受ける人が少しでも楽になるグッズや介護に関する情報の発信は、普段患者様のケアを行っている私たちだからこそできる、市民の皆様に発信すべき有益情報であると確信しました。

今後も、普段のケアを充実させつつ、そこから浮かぶさまざまな気づきを大切にし、介護する人、される人双方に有益なグッズの開発を続けたいと思います。

５Ｆ療養病棟
看護助手
妹尾　真由美

ボランティア ロビーコンサート

―ピアノ弾き語り―
橋本　直幸さん

院内研修

去る 11 月 29 日感染委員会から「感染対策の重要性」「職業感染予防策」について、医療安全委員会から「指差し呼称の利点」「MRI 装置の安全」について、全職員対象で院内研修を行いました。